

# まちなみ

防災まちづくり通信 第3号

燃え広がらず、壊れにくい、逃げやすいまち

発行／浦安市 都市整備部

平成30年1月



## 防災まちづくり勉強会(全5回)を実施しています！

浦安市では、これまでに3回の「防災まちづくり勉強会」を開催して、地区の皆さんと活発な意見交換を行っています。地区にお住まいならではのご意見もいただき、市の担当課としては驚きと気付きをいただいています。勉強会は残り2回ありますので、ぜひともご参加ください。

全5回の勉強会を踏まえて市では「防災まちづくり方針(案)」を作成し、3月に説明会を開催する予定です。



- ・道が狭く、火災に弱いなどの地区の課題を改めて把握できました
- ・ワークショップでは、様々な意見やアイデアを聞くことができ有意義でした

第1回「総合ガイダンス」(11/11)

第2回 新橋周辺広場づくり  
「現地確認」ワークショップ(11/18)

第3回 防災まちづくり  
「まち歩き」ワークショップ(12/9)

第4回 新橋周辺広場づくり  
「デザイン」ワークショップ(1/20)

第5回 防災まちづくり  
「逃げ地図」ワークショップ(2/3)

これまでの勉強会

今後の勉強会

ご存知ですか？

## 「大地震=小学校へ避難」という一律の考えはキケン！

### 大地震時に想定される3つの避難パターン

#### ○自宅被害・火災がない場合

自宅で生活



#### ○自宅が被災、火災はない場合

指定避難所へ避難



#### ○延焼火災が発生した場合

指定緊急避難場所へ避難



勉強会での意見交換では、「避難場所」である小学校へ避難すれば安心だと考えている方が多くいらっしゃいました。一般的に「避難場所」には、大火災から逃れる場所(指定緊急避難場所=一時避難場所)と、避難生活の場所(指定避難所)という2つの定義があります。

指定避難所は、避難生活が可能な「学校」(本地区では浦安小・南小)などが指定されることが多く、学校が住宅街など木造家屋に囲まれている場合、必ずしも大火災に対して安全とは限りません。そのため、大火災から逃れるには、安全な経路で、火災の影響のない大きな公園まで避難することが必要です。大火災が鎮火する1～数日後に、再び地区に戻り、自宅が被災していた場合には、指定避難所で避難生活をするようになります。

以上の避難行動を念頭に置いたうえで、災害時の身近な集合場所や避難ルートについて地域で話し合っておくことが大切です。

一緒に  
考えよう！

# これまでの防災まちづくり勉強会

## 第1回 防災まちづくり勉強会



市長挨拶

### ■「総合ガイダンス」

日時：平成29年11月11日10:00~12:30

会場：浦安小学校 体育館

参加者数：44名

内容：地区の特徴や防災まちづくりの考え方の紹介  
まちの課題や改善点に関する意見交換

**市長から、災害に強い、住み続けられるまちを目指して、住民のみなさんと一緒に防災まちづくりに取り組んでいきたいと挨拶がありました！**

## 第2回 防災まちづくり勉強会



現地確認

### ■「新橋周辺広場づくり」ワークショップ

日時：平成29年11月18日10:00~12:30

会場：まちづくり事務所

参加者数：13名

内容：広場整備予定地の現地確認  
広場の利用アイデアの検討

**防災広場の整備予定地を現地確認し、  
日常時・災害時の利用アイデアを話し合いました！**

## 第3回 防災まちづくり勉強会



まち歩き

### ■「防災まちづくり」ワークショップ

日時：平成29年12月9日10:00~12:30

会場：まちづくり事務所、浦安小学校体育館

参加者数：25名

内容：まち歩きによる課題・資源の点検  
安全な避難環境づくりのための取り組み課題の検討

**地図を片手に、みんなでまちを歩き回って点検しながら、  
安全な避難環境づくりに必要な対策案を話し合いました！**

各町丁目ごとに班分けをして実施したワークショップでは、住民のみなさんから「市有地を活用した緊急避難場所となる広場の整備」、「消火活動や避難のための道路の新設や拡幅」、「地区内に消火器の設置」、「小規模な戸建て住宅が密集して建てられるミニ開発の規制」、「ブロック塀の倒壊への対応」などの提案がされました。



ワークショップでの発表

新橋周辺の広場整備予定地を現地確認し、利用アイデアの検討を行いました。住民のみなさんから「防災と多目的に使える広場」、「かまどベンチを設置し、BBQ をして使い方の訓練をしたい」、「避難所と連携した給水・物資供給の拠点として使えないか」など、具体的な防災活動をイメージしながら、日常時にも楽しんで利用できる広場について様々なアイデアが提案されました。



ワークショップで作成したアイデア図

住民のみなさんから「災害時の集合場所としての市有地の活用」や「避難路の整備」、「ブロック塀の改善」、「電線類の地中化」などの提案がされました。

また、震災時の大火災の心配だけでなく水害についてもご意見をいただき、「水害時に備えた高層ビルとの避難協定」などの提案がされました。



ワークショップでの意見交換

## 各地の防災まちづくりの事例をご紹介します！

現在、本地区では「防災まちづくり勉強会」が開催され、地域の実情に沿ったより良いまちづくりとなるように意見交換が進められています。また、他地区においても地域の特性に合わせて様々な創意工夫によるまちづくりが各地で進められています。

そこで、今回は東京都葛飾区堀切地区の取組み事例をご紹介します！

### 1

#### 「逃げ地図(避難地形時間地図)」の取組み

- 逃げ地図とは、地図上の道路に色を塗って、目標避難地点までの時間を表した防災のための地図です。直感的に危険な場所を理解することができます。
- 防災まちづくりに取り組んでいる、東京都葛飾区の堀切地区では、逃げ地図ワークショップによって、災害の状況に応じた避難ルートを確認したり、整備予定の防災道路の重要性の検証に役立てています。



逃げ地図の作業の様子

第5回「逃げ地図」ワークショップでは、実際に逃げ地図をつくって、まちを検証します！

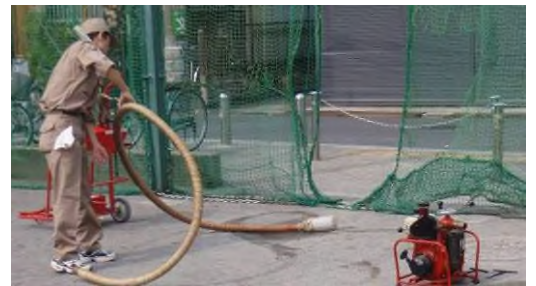


逃げ地図の作成例

### 2

#### 住民による自主管理「堀切二丁目公園(東京都葛飾区)」の取組み

- 堀切二丁目公園は、葛飾区初の「防災活動拠点」として平成11年4月に完成した防災公園です。
- 町会、PTA、青少年委員会、子ども会等が、公園整備の基本計画、公園整備後の維持管理計画をワークショップで作成しました。
- 周辺住民の防災意識が高く、災害直後には行政等の助けは受けられず、自分たちで対応するしかないという認識から、定期的な防災施設の点検や炊き出しなどの自主的な活動が20年近く行われています。



雨水貯水槽からの放水訓練



かまどベンチで炊き出し訓練

事業に関するお問い合わせや相談は・・・  
 浦安市 都市整備部 都市政策課、都市計画課、市街地開発課  
 猫実 1-1-1 TEL047-712-6536 (都市政策課)  
 Email : tosei@city.urayasu.lg.jp